

平成 16 年度見学研修会報告

今年度の見学研修会は、平成 16 年 7 月 30 日 (金) に、東京理科大学野田キャンパスで開催されました。夏季休業中の開催は今回で 3 回目になります。参加者は 60 名でした。内容の概略を報告します。

1 オリエンテーション

オリエンテーションの中で、武田薬学部長にスライドを使って東京理科大学について説明していただきました。自然に恵まれた野田キャンパスの様子や今後の計画、神楽坂地区再構築、薬学部教育・研究について話を聞きました。

2 施設見学

3つのグループに分かれて、セミナー周辺、ゲノム創薬研究センター、医療薬学教育研究センター、計算科学フロンティア研究センター、図書館等の見学をしました。見学場所の一部を紹介します。

(1) 医療薬学教育センター

本物の薬を使って調剤の実習をする部屋を見学しました。薬剤師教育を充実させており、1年次から基礎的なことを徹底的に行っているとのことでした。



これからの薬剤師は、コミュニケーションが大切でその実習も行っているという

ことです。最新設備と研究で、次世代の薬学教育を目指す東京理科大学の新しい薬学部を見ることができました。

(2) 計算科学フロンティア研究センター

研究開発プロジェクトは「高速計算機内における仮想空間実験プラットフォームの構築と先進的計算科学の推進」というものです。位相空間表示室を見学し、ある装置に実際にふれて、仮想現実を体験しました。



(3) 図書館

46 万冊以上の所蔵数を誇る図書館です。所蔵している資料をインターネットでどこからでも検索できる「図書館資料検索」や、世界中の学術雑誌に掲載されている最新の論文を読むことができる「オンライン・ジャーナル」を体験しました。また、保存書庫内も見学させていただきました。

3 講演

(1) 「古代ギリシャの数学を折り紙で考える」

講師 理工学部 伊藤 稔 助教授

- ① A4用紙が $1 : \sqrt{2}$ の辺であることを数式を使わないで説明すること。
- ② 元の立方体の2倍の体積をもつ立方体の辺の長さを折り紙で説明すること。
- ③ 任意の角の三等分の作図を折り紙で解く。

参加者に紙を配ってこれらの問題を説明していただきました。「折り紙を理数教育の教材にできないか」という先生の思いの伝わる、熱意とユーモアのある講演でした。



はないか」と話されていました。



東京理科大学のご協力のおかげで、有意義な研修を行うことができました。ありがとうございました。



(2) 「数学と数学教育」

講師 理工学部 岡 正俊 教授

毎年約100人いる教員希望の学生と、どういう教員になるか議論された中で、先生が気になった3つのテーマ（数直線、角、複素数）について、話をさせていただきました。今の学生については、「難しいことに çıkわすと弱い。テクニカルには全く問題ないが、学ぶ意欲というものが希薄で